

5歳児 山の組・海の組

(28名) (28名)

保育研究シート

2025年2月7日(金)

(担任) 佐藤寛子・田村郁・戸田実穂

1. 子どもたちの姿

登園するとすぐに友達と声をかけ合い、園庭で野球、サッカー、リレーを始めたり、教材室で必要な材料を選び、製作にとりかかったり、遊戯室で大型積み木やブロックで友達とイメージを重ねながら場作りをしたりなど、子どもたちは、思い思いに自分のやりたいことがあり、その遊びに適した場所を選んで、思い切り遊んでいる。3学期になり、園で過ごす時間に限りがあることを、子どもたちなりにどこかで感じながら、今のこの時を精一杯遊び尽くそうとする気持ちが伝わってくる。今週初めに実施した豆まきでは、これまでの体験を重ねながら、年少児、年中児がそれぞれに楽しめる内容を考えて取り組もうとする姿が見られ、園の暮らしを自分達でつくりだしていこうとする思いが感じられた。

子どもたちは、この一年を通して、「食べること」をたくさん体験してきた。園庭のびわ、姫竹、梅、夏みかん、柿、畑で育てた野菜各種、郊外園で収穫してきたジャガイモ、サツマイモ...など。そのまま味わったり、スープにしたり、お米と一緒に炊き込んだり、バーベキューしたりと、保育室で、園庭で、みんなに振る舞い、一緒に味わい、「食べること」を通して、園で暮らす人たちとのつながりを感じてきた。

また、2学期の運動会をきっかけに、小学校への接続も視野に入れ、関わりがより広がり、深まっていこうと考え、学年を4つに分けたチームを編成した。紆余曲折ありながら、各チーム14名の子どもたちが相談し合って決めたチームカラーとチーム名～サファイヤ・シャーク(青)、チーター(黄)、スカイブルー(水)、アミスト・ハナビ(紫)～も、子どもたちの遊びや暮らしの中に位置付けている。チームの仲間とのつながりは、遊びを通じた気の合う友達との関わりとは少し異なる、新しい出会いにつながっていったように思う。

残り少ない園での暮らしだが、これまで体験してきたことが、子どもたちにとって無理なく自然な形でつながっていくこと、一人ひとりが多様でありながら、友達と関わる楽しさを知り、互いに認め合い、刺激を受け合いながら育ち合っていくことを願い、引き続き、援助を重ねていきたいと考えている。

2. 子どもへの願い(かかわりの視点から)

***自分とのかかわり** ～身の回りのことに興味を持ち、諦めずに根気よく取り組み、自信をもつ～

一人ひとりが好きな遊びを極めつつ、新しいことにも挑戦しようとする気持ちをもつことで、新たな自分と出会い、自信につながっていく喜びを感じてほしい。

***人とのかかわり** ～友達と力を合わせ、アイデアやイメージを出し合いながら工夫して遊ぶ～

友達との関わりの中で多様であることを面白いと感じ、互いに認め合い、思いを伝え合ながら遊ぶ楽しさを充分に感じてほしい。

***もの・こととのかかわり** ～役割を担い、人の役に立つ喜びや、生活をつくっていく気持ちをもつ～

いろいろなことに興味を広げ、それぞれが自分らしさを発揮しつつ、友達と遊びや暮らしをつくり出す充実感を味わってほしい。

3. 本日の流れ

時間	幼児の活動	留意点・手だて
9:00 ～9:10	登園 挨拶・身支度 遊びや生活を進める ＜保育室・廊下・アトリエ＞ 製作・ままごと・劇・コマ回しなど ＜園庭・お山＞ ドッジボール・リレー・サッカー・ 鬼ごっこ・縄遊び・竹馬・砂場・ モルモットのお世話など ＜遊戯室＞ 大型積み木・キングブロック・コマ回しなど	・挨拶を交わし合い、それぞれのペースで遊び出せるよう支える。 ・前日までの遊びの流れに配慮しつつ子どものやりたいことを受けとめ、場や物の準備を丁寧に進められるよう教師も共に動く。 ・いろいろな人が関わり合うことで、遊びがより深まっていこうな場の作り方、素材や道具等を工夫する。 ・やってみよう動き出した子ども同士が根気強く続けたり、刺激あったりできるように教師も共に取り組みながら支える。 ・互いの思いや、遊びのコツ、やり方等が伝わり合うように、教師も一緒に遊びながらやりとりを支える。 ・使い終えた物を元に戻す、落ちていた物を拾うなど、気が付いて取り組む姿を認め、みんなで心地良く生活できるようにする。 ・子ども同士で互いに声をかけあい、遊びに区切りをつけたり、協力して片付けに取り組んだりできるよう働きかける。
10:40	片付け・トイレ・水分補給	
11:10	集まり 本、歌、話し合いなど 来週の予定等を共有する	・クラスの仲間や教師の話に耳を傾け、みんなで過ごす時間を楽しめるように内容を工夫する。 ・落ち着いて、丁寧に身支度を進められるよう促す。
11:30	身支度・降園	・翌週に期待を持ち、気持ちを合わせて挨拶する。

<最近の遊びマップ>

<園庭>

ドッジボール・鞆におに・鬼ごっこ

寒さのなかでものびのび身体を動かして、ルールを伝え合いながら遊んでいる。友達と遊ぶことが楽しく、誘い合わせて、遊びが始まる。

野球・サッカー

ボールやバット・ゴールなど道具を自分たちで工夫してつくり、ルールを共有しながら遊びを続けている。最近はおもちゃたちだけで遊びが続けられるようになってきた。

<子どものうち>

年長児だけが遊べる場として3学期から使い始めた。お家ごっこや製作をじょうずに楽しんでいる。

<アトリエ>

保育室とは異なり、つくったものなどをそのまま残しておくことができる特別な空間。研究所や水族館などの遊びに活用してきた。写真絵を継続して楽しんでいる人たちが影絵をできないかと考えている。

<廊下>

お店屋さんやレストランをやる場として、子どもたちが好み、異学年の子どもたちの交流が見られる場。品物や場をつくらせ、年少児、年中児に丁寧に接客する姿が見られる。

砂場

水を出して、ダイナミックに遊んだり、工事現場に見立て、ものを組み合わせたリして、友達とイメージを共有しながら遊んでいる。

<三和工>

道具を使って、色水づくりやおまじことを作るなど、イメージを膨らませて遊んでいる。

<おふ>

気の合う友達と出かけ、のんびり過ごすのが心地よい場所。この場所を好み誘い合わせて弁当を食べる子どもたちも多い。

<飼育小屋>

あずきとみるく(仮名)の2匹のモルモットを大事に、気持ちをかけながらお世話している。

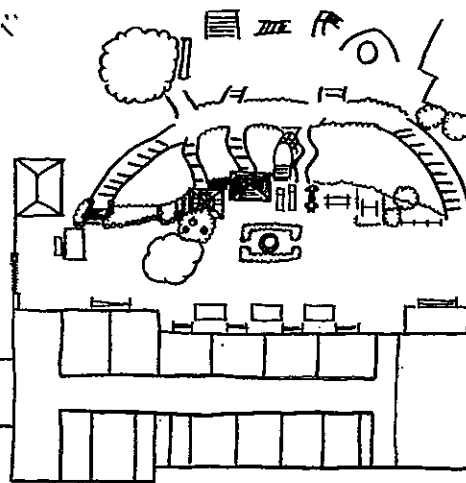
<遊戯室>

大型積木・キングブロック

工夫して場づくりを楽しみ、家族ごっこなどイメージを重ねながら遊びを展開している。クラスや学年を超えて色々な人が混ざり合って遊ぶ姿が見られる。

ショー

長い手を並べて客席をつくり、舞台を使ってショーを楽しんでいる。年少児・年中児を招き、チケットを配る、案内するなど役割を見つけ、関わる姿が見られる。



<保育室>

自分のやりたいことを安心してじょうず取り組める場所。

製作

自分のイメージを形にしたい、本物らしくしたいという思いがあり、試行錯誤しながらこだわってつくる姿が見られる。

【中学校とのやりとり】

子どもたちが、掘ってきたジャガイモを中学校にお裾分けしたことから交流が始まり、お返しに梅干しをいただいたり、リンゴを使ったおやつレシピを紹介してもらったりと、関わりが続いている。最近では、中学生が真・白な毛糸を子どもたちの希望の色に染めて、プレゼントしてくれた。手紙のやりとりを続けている人もいます。

前週の子どもたちの姿から		環境の構成・教師のかかわり				
ひと(自分・友達)とのかかわり ・登園するとすぐに園庭に出かけ、ドッジボール、靴取りなど連日大勢で楽しんだ。体を動かすことで、寒さも忘れ、友達とほどよい距離感で遊ぶ心地よさを感じているようだった。 ・「自分たちでつくった歌を歌おうよ」という声が上がった。「まずは題名から」ということで、早速にU児が「しあわせのリースはどうか？」とクラスのみんなに提案し、翌日、歌詞を書き始めた。教師と一緒に曲をつけて歌ってみた。隣のクラスの A 児も「みんなのゆめ」という歌を作った。子どもたちがつくりだす歌が面白く、いろいろ感じ、考えていることが伝わってきて興味深い。 ・気の合う友達との関わりでは、時折言葉がきつくなってしまう、気持ちがいすれ違うこともあり、浮かない表情で佇む姿が見られた。それでも、子どもたち同士で解決し、遊び続ける様子もあり、教師も相談に乗りつつ、見守っている。		〇友達と互いの思いや考えに耳を傾け合い、イメージを重ねながら、遊びや生活を進められるように ・一人ひとりがやりたいことを表現する姿を受け止め、実現するように支えることで、個々の充実が友達と関わる原動力に繋がるようにする。 ・互いの思いや考え、イメージなどを伝え合い、認め合えるような雰囲気や関係性が生まれるように援助する。 ・遊びを通して、年少・年中児と出会い、楽しませたり、喜ばせたりすることが、子どもたちの自信となっていくよう支える。 ・冬の季節を五感を通して味わえるよう、子どもたちの発見を共感的に受け止め、教師もともに楽しむ(霜柱探し、花壇の水やり、モルモットの餌さがしなど)。 ・手洗いや身支度、ものの管理、遊具の扱いなど、一人ひとりの様子を再確認し、見通しをもった丁寧な生活が送れるよう配慮する。 ・クラスや学年の仲間と過ごす嬉しさや心地よさを味わえるよう、ゲームや歌、感じたこと考えていること等を語り合うなど、降園前の集まりの持ち方を工夫する。				
ものとの関わり ・月曜日には、佐世保ゴマを見せていただいた。子どもたちが持っている投げゴマとは、形状も、回し方も、回り方も異なっていて、興味のある子どもたちが三々五々集まり、回してみたいと挑戦した。回っている時の模様の出方が肉眼とカメラのレンズを通して見るのとでは異なることも教えていただき、その不思議さ、面白さに心引かれる姿も見られた。 ・大縄飛びや竹馬に挑戦している子どもたちも多い。回っている縄のリズムを感じながら、跳ぶ気持ち良さや、バランスを感じながら竹馬に乗って園庭の坂道や階段の上り下りにも挑戦している。 ・図鑑を見ながら、新聞紙とビニールテープで、細部にこだわった昆虫や動物をつくったり、トレーシングペーパーで絵を写して描き、オリジナルの図鑑をつくったりする遊びには、継続して取り組んでいる。		〇いろいろなことに興味を示し、挑戦しようとする気持ちがもてるように。 ・じっくり遊び込み、達成感や充実感を味わうことができるように支え、一人ひとりの自信につながっていくようにする。 ・やってみようと動き出した子ども同士が、根気よく続けたり、刺激を受け合ったりできるような雰囲気づくりを工夫し、教師もともに取り組みながら支えていく。 ・やってみたい気持ちをなかなか表せないでいる子どもには、機会を捉えて声をかけたり、一歩踏み出せるよう後押ししたりする。				
		投げゴマ・竹馬・大縄跳びなど 安全に、じっくり取り組める環境を整え、子どもたち同士が、コツを伝え合ったり、励まし合ったりしながら、「やってみよう」と心を動かし挑戦することができるよう支える。出来るようになった嬉しさに共感し、自信につながっていくよう教師もともに楽しんで関わる。 ドッジボール・靴とり・サッカー・リレーなど いろいろな友達と身体を動かして遊ぶ中で、関わりがより豊かになっていくよう、教師もともに動き、子ども達のやりたい気持ちや遊びが続くよう援助する。				
3 日 (月)		4 日 (火)	5 日 (水)	6 日 (木)	7 日 (金)	
9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める * 豆まき準備 遊戯室にて		9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める	9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める	9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める	<公開保育研究会> 9:00 登園・身支度 遊びや生活を進める	
		園庭／リレー・ドッジボール・サッカー・靴とり・縄遊び・竹馬・砂場・モルモットのお世話 など 保育室・廊下・アトリエ／製作・ごっこ遊び・コマ回し・お店屋さん・電車・OHP を使った影絵 など 遊戯室・コート室／大型積木・キングブロック・フラフープ・ショー・劇 など				
10:30 豆まき		10:45 片付け トイレ、手洗い 弁当準備	10:40 片付け、トイレ 手洗い、水分補給	10:45 片付け トイレ、手洗い 弁当準備	10:40 片付け、トイレ 手洗い、水分補給	
11:00 片付け トイレ、手洗い 11:30 弁当 片付け・食休み		11:30 弁当 片付け・食休み	11:10 集まり 身支度 11:30 降園	11:30 弁当 片付け・食休み	11:10 集まり 身支度 (外靴持ち帰り) 11:30 降園	
遊びや生活を進める		遊びや生活を進める		遊びや生活を進める		
12:45 片付け、トイレ 手洗い、水分補給		12:45 片付け、トイレ 手洗い、水分補給		12:45 片付け、トイレ 手洗い、水分補給		
13:10 集まり 身支度		13:10 集まり 身支度		13:10 集まり 身支度		
13:30 降園		13:30 降園		13:30 降園		
			横井先生 参観・打合せ	前日準備	学年別研究協議会・全体会	
〇友達と互いの思いや考えに耳を傾け合い、イメージを重ねながら、遊びや生活を進める 〇いろいろなことに興味をもち、挑戦しようとする		絵本・紙芝居：季節に関する話 (冬、氷など)、長めのお話 など 歌：「カレンダーマーチ」「ともだちになるために」「にじのむこうに」 オリジナル曲「しあわせのリース」「みんなのゆめ」 など ゲーム：ジャンケン列車、猛獣狩りに行こう、ハンカチ落とし、ジェスチャーゲーム など				